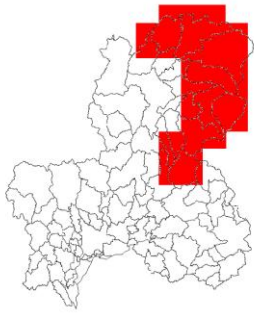


チョウセンミネバリ	<i>Betula costata</i> Trautv.	情報不足
		カバノキ科
選定理由	従来あまり知られていなかったが、存在が明らかになってきており、詳しい調査を必要とする。	写真(岐阜大学教育学部標本室)
形態の特徴	落葉性の高木。葉は互生し、短枝には普通2枚つき、葉柄は長さ1-1.5cm、葉身は卵形から広卵形、漸鋭尖頭から鋭尖頭、基部は浅心形、縁は重鋸歯があり、長さ4-7cm、幅2.5-4cm。花は葉の展開とともに咲く。雄花序は下垂、雌花序は上向き。果実序は長さ2.5-3cm。	
生態的特徴	山地帯上部から亜高山帯に生育する。花期は6-7月。	
分布状況	全国分布は不明確。岐阜県では県北に見られる。	
減少要因	開発による森林の伐採にりよる減少が心配される。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘